

表 12.14 成人 Still 病の診断基準案



4. 反応性関節炎 reactive arthritis ★

同義語：Reiter 症候群 (Reiter's syndrome), Reiter 病 (Reiter's disease)
ライター

Essence

- 10～30歳の男性に多い。HLA-B27 関連疾患の一つ。
- 尿道炎などの感染症に対する反応として生じる。多発性関節炎，尿道炎，結膜炎（3主徴）。
- 手掌足底の紅斑，膿疱，角化，環状亀頭炎。
- 多くは6か月以内に自然治癒。HIV 感染の合併に注意。

症状

20歳代の男性に多い（男女比20：1）。尿道炎や子宮頸部炎（とくに *Chlamydia trachomatis* 感染），細菌性腸炎などの感染症を契機とし，感染1～2週間後に関節炎や結膜炎，皮膚粘膜症状が出現する。亀頭部に無痛性の環状のびらん〔環状亀頭炎（circinate balanitis）〕を約30％に生じる。無痛性口腔内潰瘍もみられる。約15％の症例で手掌足底に紅斑や丘疹が出現し，融合して角化性局面を形成してときに膿疱を伴う〔膿漏性角皮症（keratoderma blennorrhagicum）〕。皮疹が全身に拡大することもあり，その場合はHIV感染を疑う必要がある。

結膜炎は急性に発症し，灼熱感を伴う。関節炎は膝，足，指関節に生じやすい。

検査所見

本症の90％でHLA-B27陽性となる。病理組織学的には乾癬と区別できない。X線所見では踵骨底や指，趾骨周囲の石灰化しょうこつが特徴的である。

治療

皮膚病変は尋常性乾癬の治療に準じる。関節炎にはNSAIDsが第一選択になる。通常6か月以内に軽快するが，関節炎が遷延することもある。

RS3PE 症候群

MEMO